

～日本隊のUNDOF派遣 15年目を迎えて～

平成22年12月12日
UNDOF司令部副広報幕僚
1等陸尉 八津尾 宗之

1 はじめに

国連兵力引き離し監視隊（UNDOF）の活動は、設立以来今年で36年目を迎え、UNDOFに日本隊が派遣されてから15年目になります。現在、私はUNDOF司令部の副広報幕僚として勤務しています。15年目の節目に当たり、UNDOFの活動をできるだけ多くの方に知っていただくために、UNDOFの現状について紹介したいと思います。

2 ゴラン高原の概要

ゴラン高原は、西アジアの中近東地区、アラビア半島北西部のイスラエル、シリア、レバノン及びヨルダン国境地域にあり、我が国の八丈島～北九州と同緯度にあります。日本から西へ約9000kmの距離（日本との時差は－7時間、但し、夏時間時－6時間）で、沖縄本島とほぼ同面積の東西約20km、南北約75kmの高原地帯です。北はレバノン及びシリアの国境をなすアンチレバノン山脈の最高峰ヘルモン山（標高：2814m）の南麓から、南はヤムルーク川及びルクアド川の河谷の間に、楯を伏せた形に張り出した海拔約1000m～2800mの高原状台地になります。

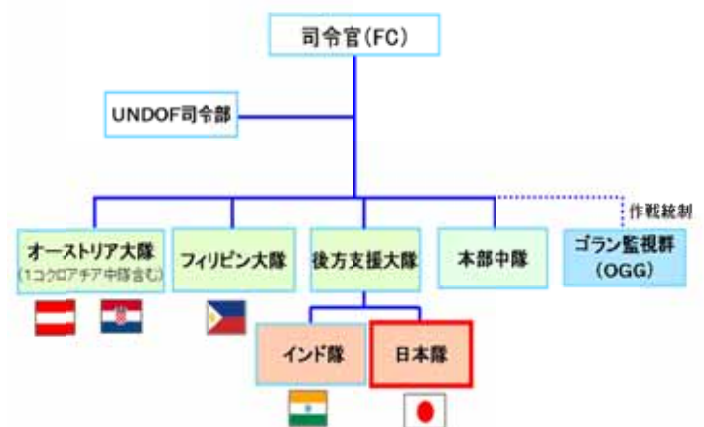


ローマ時代から隊商の交通路として開け、7世紀以降はアラブ領となったが、1948年イスラエル建国戦争（第1次中東戦争）以来、シリア側の対イスラエル攻撃拠点となり、1967年の第3次中東戦争によりイスラエルに占領され、現在に至っています。ゴラン高原に関する国連の立場は、あくまでイスラエルが占領した地域であり、イスラエルとシリアの国境はヨルダン川としております。

ゴラン高原の周辺には、ガリラヤ湖、ヨルダン川、ルクアド川及びヤムルーク川があり、ゴラン高原の地表水、地下水とあいまってイスラエルの最も重要な水源となっています。また、ゴラン高原から東西を広く瞰制できるため、イスラエル、シリア双方にとって、戦略的にも重要な地形になります。

3 UNDOFの編成

UNDOFは、UNDOF司令官（エカルマ少将：フィリピン軍人）を長とするUNDOF司令部、オーストリア大隊（大隊内1コ中隊はクロアチア隊）及びフィリピン大隊の2個の歩兵大隊、インド隊及び日本隊から編成されている後方支援大隊、司令官直轄の本部中隊から編成され、国連休戦監視機構（UNTSO）のゴラン監視群（OGG）とともに、任務を遂行しています。軍人だけで約1050名、文民（約150名）及びUNDOFの作戦統制下にあるOGG（約80名）を合わせると約1280名がゴラン高原で勤務していることになります。



日本隊は1996年3月にカナダ隊から交代し、2010年9月より派遣されている30次要員の任務をもって15年を迎え、現在まで延べ1300名以上の隊員がゴラン高原での任務に就いています。UNDOF司令部の中に、前任兵站幕僚、輸送幕僚及び副広報幕僚の3名が勤務しております。

※ UNTSOは、停戦及び休戦協定履行の監督、不測事態発生時の拡大防止のために、非武装の軍事監視要員が展開して任務を実施しています。UNTSOは、OGG、レバノン監視群（OGL）及びエジプト監視群（OGE）の計約150名から構成されています。

4 UNDOFの任務

UNDOFの任務（マンドート）は、①イスラエル・シリア間の停戦監視を行うこと、②イスラエル・シリア軍の兵力引き離し状況の履行状況の監督を行うこと、③兵力引き離し地域（AOS）及び兵力制限地域（AOL）の監督を行うことの3つが定められています。具体的には、AOSに展開している陣地や監視哨から両国の活動の監視を実施したり、車両や徒歩パトロールにより、機動的な監視任務を毎日実施し、協定違反の未然防止に努めています。

この中で、日本隊は、監視活動の基盤を支える後方支援任務（輸送・補給・整備等）を行っており、近年は機動的な監視任務に重点が置かれているため、日本隊の実施する道路整備は、UNDOFの監視任務を支える重要な役割となっています。



5 UNDOFのその他の活動

(1) AOS通過（クロッシング）支援

第4次中東戦争終了後、停戦ラインによりシリアの住民（ドルーズ族）が分断されました。イスラエルが占領するゴラン高原に住むシリア住民は、未だにイスラエル国籍を取得することを拒否しています。UNDOFは、イスラエル占領地の住民に対して、教育、宗教等の基本的人権を守るという人道的な観点から、赤十字国際委員会（ICRC）と連携してゴラン占領地の住民に対する各種支援を実施しています。ゴラン占領地に住む住民は、この場合に限りクロッシングを行うことができます。

※ クロッシングの種類

- ① 巡礼クロッシング（ゴラン占領地住民のダマスカス及びメッカ等への巡礼のための通過）
- ② 学生クロッシング（入学・卒業及び長期休暇時の移動のための通過）
- ③ 果実（りんご等）クロッシング（ゴラン占領地で収穫された果実をシリアで販売するための通過）
- ④ 結婚クロッシング（AOSで分断されているシリア住民（主にドルーズ族）間の結婚のための通過）



(2) 医療支援

UNDOFは必要に応じ、現地住民に対する医療支援を実施しています。



6 おわりに

ゴラン高原の地で勤務することで、隣同士の国が停戦ラインを挟んで対峙しているという現実、そして、国交が無く行き来することができないという現実等、緊張状態にある両国の現実を目の当たりにして、戦争の傷跡が36年経った今も未だに残っていることを実感しています。中東に関する文献、両国関係者との業務、そして現地の方々との触れ合い等を通じて、中東という地域に対する理解を深めることができました。また、中東という地域は、様々な国の考えや思惑が複雑に絡み合っており、中東和平の進展はなかなか一筋縄ではいかないことを痛感しています。一方、中東地域には、ゴラン高原のみならず、パレスチナ問題、レバノンとイスラエルとの問題等、克服すべき問題が多々あり、ゴラン高原の安定化が中東和平を進める上で、非常に重要な位置を占めていることを認識することができました。中東和平に貢献できているという「誇り」を胸に、引き続き任務に邁進したいと思います。